

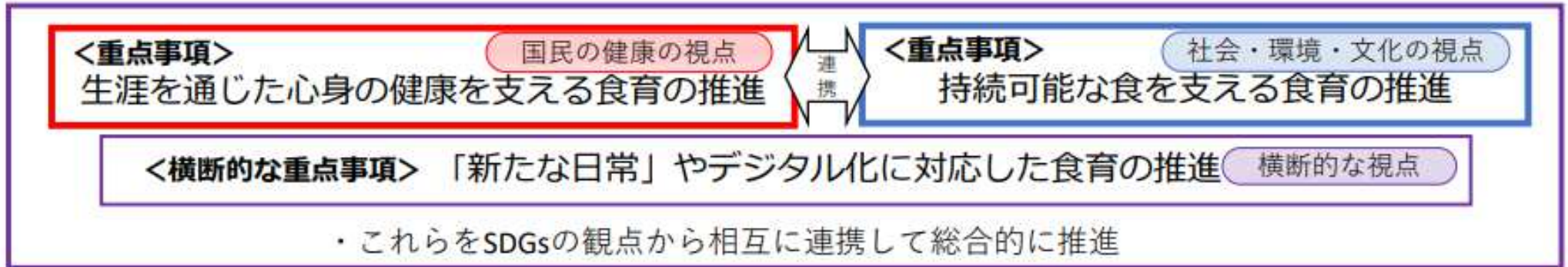
第1回 埼玉県食育推進計画検討会議	資料4-1
令和5年6月13日（火） 18：30～	

次期埼玉県食育推進計画 指標策定方針(案)について

第4次食育推進基本計画の概要

基本的な方針(重点事項)

啓発リーフレット_P19-22



- 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
 - 🌱 健康寿命の延伸
 - 🌱 自然に健康になれる食環境づくり
- 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進
 - 🌱 デジタル技術の有効活用
 - 🌱 食に関する意識の向上
- 持続可能な食を支える食育の推進
 - 🌱 食と環境の調和:環境の環(わ)
 - 🌱 農林水産業や農山漁村を支える多様な主体とのつながりの進化:人の輪(わ)
 - 🌱 日本の伝統的な和食文化の保護・継承:和食文化の和(わ)

第4次食育推進基本計画の概要

食育の推進に当たっての目標

啓発リーフレット_P23-24

目標			
具体的な目標値	現状値	目標値	
(追加・見直しは黄色の目標値)	(令和2年度)	(令和7年度)	
1 食育に関心を持っている国民を増やす			
① 食育に関心を持っている国民の割合	83.2%	90%以上	
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす			
② 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.6回	週11回以上	
3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす			
③ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合	70.7%	75%以上	
4 朝食を欠食する国民を減らす			
④ 朝食を欠食する子供の割合	4.6%※	0%	
⑤ 朝食を欠食する若い世代の割合	21.5%	15%以下	
5 学校給食における地場産物を活用した取組を増やす			
⑥ 栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月9.1回※	月12回以上	
⑦ 学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値(令和元年度)から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上	
⑧ 学校給食における国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値(令和元年度)から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上	
6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす			
⑨ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.4%	50%以上	
⑩ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.4%	40%以上	
⑪ 1日当たりの食塩摂取量の平均値	10.1g※	8g以下	
⑫ 1日当たりの野菜摂取量の平均値	280.5g※	350g以上	
⑬ 1日当たりの果物摂取量100g未満の者の割合	61.6%※	30%以下	

目標			
具体的な目標値	現状値	目標値	
(追加・見直しは黄色の目標値)	(令和2年度)	(令和7年度)	
7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす			
⑭ 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	64.3%	75%以上	
8 ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす			
⑮ ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	47.3%	55%以上	
9 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす			
⑯ 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	36.2万人※	37万人以上	
10 農林漁業体験を経験した国民を増やす			
⑰ 農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合	65.7%	70%以上	
11 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす			
⑱ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	73.5%	80%以上	
12 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす			
⑲ 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	67.1%	75%以上	
13 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす			
⑳ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	76.5%※	80%以上	
14 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす			
㉑ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	50.4%	55%以上	
㉒ 郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合	44.6%	50%以上	
15 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす			
㉓ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	75.2%	80%以上	
16 推進計画を作成・実施している市町村を増やす			
㉔ 推進計画を作成・実施している市町村の割合	87.5%※	100%	

“食育ピクトグラム”と“食育マーク”

食育の取組を子どもから大人まで、誰にでもわかりやすく発信することを目的に、表現を単純化した絵文字であるピクトグラム等を作成しています。

食育マーク



食育ピクトグラム

- | | |
|--|---|
|  <p>1 共食
家族や仲間と、会話を楽しみながら食べる食事で、心も体も元気にしましょう。</p> |  <p>2 朝食欠食の改善
朝食を食べて生活リズムを整え、健康的な生活習慣につなげましょう。</p> |
|  <p>3 栄養バランスの良い食事
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事で、バランスの良い食生活につなげましょう。また、減塩や野菜・果物摂取にも努めましょう。</p> |  <p>4 生活習慣病の予防
適正体重の維持や減塩に努めて、生活習慣病を予防しましょう。</p> |
|  <p>5 歯や口腔の健康
口腔機能が十分に発達し維持されることが重要ですので、よくかんでおいしく安全に食べましょう。</p> |  <p>6 食の安全
食品の安全性等についての基礎的な知識をもち、自ら判断し行動する力を養いましょう。</p> |
|  <p>7 災害への備え
いつ起こるかも知れない災害を意識し、非常時のための食料品を備蓄しておきましょう。</p> |  <p>8 環境への配慮(調和)
SDGsの目標である持続可能な社会を達成するため、環境に配慮した農林水産物・食品を購入したり、食品ロスの削減を進めたりしましょう。</p> |
|  <p>9 地産地消等の推進
地域でとれた農林水産物や被災地食品等を消費することで、食を支える農林水産業や地域経済の活性化、環境負荷の低減につなげましょう。</p> |  <p>10 農林漁業体験
農林漁業を体験して、食や農林水産業への理解を深めましょう。</p> |
|  <p>11 日本の食文化の継承
地域の郷土料理や伝統料理等の食文化を大切にして、次の世代への継承を図りましょう。</p> |  <p>12 食育の推進
生涯にわたって心も体も健康で、質の高い生活を送るために「食」について考え、食育の取組を推進しましょう。</p> |

次期埼玉県食育推進計画 指標策定方針(案)

指標の策定方針

- 1 埼玉県食育推進計画(第4次)の指標を基本とする。
特に、「栄養バランスの良い食事」に係る項目の改善を重点的に推進する。
※「食育推進計画を作成・実施している市町村数の割合の増加」は目標達成したため今計画で終了とする。
- 2 食育推進基本計画(第4次)を勘案した目標とする。
- 3 指標や目標値については、他計画の整合性を図るものとする。
- 4 東日本大震災をはじめとし、全国各地で様々な災害が発生している。災害発生からライフライン復旧までには相応の時間を要するケースが多く、その間も、健康が維持できる食事を確保することは重要である。
よって、次計画では「災害への備え」に関する目標を新たに加える。

次期埼玉県食育推進計画 指標(案)

災害への備え

- 災害に備え3日以上以上の食料を備蓄している者の割合

*目標値のデータソース「埼玉県県政サポーターアンケート(埼玉県)」

設問 あなたのご自宅では、災害に備えて食料を何日分用意していますか。

(*前の質問で、「水、食料ともに用意している」「食料のみ用意している」と回答した者に対する質問)